

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2006-517309(P2006-517309A)

【公表日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-028

【出願番号】特願2004-557437(P2004-557437)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 1 1 C

G 0 6 F 12/00 5 4 5 Z

G 0 6 F 17/21 5 0 1 T

G 0 6 F 17/21 5 7 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月29日(2008.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

M P E G - 4 (m p 4) バイナリ・ファイルを X M T (E x t e n s i b l e M P E G - 4 T e x t u a l) - A ファイルに変換する方法であって、

前記 m p 4 バイナリ・ファイルを表す少なくとも1つの中間構造化文書を生成することと、

前記少なくとも1つの中間構造化文書を X M T 構造化文書に変換することと、

前記 X M T 構造化文書に基づいて前記 X M T - A ファイルを作成することとを含む方法。

【請求項2】

前記中間構造化文書が、m o o v アトムおよび1つまたは複数の m d a t アトムを表すデータ構造を含み、前記 m o o v アトムが、i o d s アトムおよび1つまたは複数の t r a k アトムを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記 m d a t アトムおよび t r a k アトムを表すデータ構造に基づいて外部メディア・ファイルを生成することをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記中間構造化文書の変換が、m p 4 - f i l e 構造化文書を生成することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記 m p 4 - f i l e 構造化文書が、e X t e m s i b l e M a r k u p L a n g u a g e に基づく、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記 m p 4 - f i l e 構造化文書が、m o o v 構造化要素および1つまたは複数の m d a t 構造化要素を含み、前記 m o o v 構造化要素が、前記 m o o v アトムを表し、各 m d a t 構造化要素が、前記中間構造化文書によって表される前記 m d a t アトムの1つを表

す、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 `moov` 構造化要素が、前記中間構造化文書の対応する部分を表す `iods` 要素および 1 つまたは複数の `trak` 要素を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

`scene description stream` を表す `mp4-bifs` 構造化文書を生成することをさらに含み、前記 `mp4-bifs` 構造化文書が、前記 `mp4-file` 構造化文書と別々の別個の文書である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 `mp4-bifs` 構造化文書が、`object descriptor stream` を表す要素を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 `mp4-bifs` 構造化文書が、`scene description stream` を表す要素を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 11】

前記中間構造化文書の生成が、
前記 `mp4` バイナリ・ファイルを表すデータ構造の組を生成することと、
データ構造の前記組を前記中間構造化文書に変換することと
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記中間構造化文書の変換が、`scene description stream` を表す `mp4-bifs` 構造化文書を生成することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

`MPEG-4 (mp4) バイナリ・ファイル` を `XMT (Extensible MPEG-4 Textual) -A` ファイルに変換するシステムであって、

前記 `mp4` バイナリ・ファイルを入力し、前記 `mp4` バイナリ・ファイルを表す少なくとも 1 つの中間構造化文書を生成するように構成されたバイナリ・ファイル・デコーダと、

前記中間構造化文書を入力し、`XMT` 構造化文書を生成するように構成されたトランスレータと、

前記 `XMT` 構造化文書を入力し、前記 `XMT -A` ファイルを生成するように構成された `XMT` シリアライザと

を含むシステム。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つの中間構造化文書が、`moov` アトムおよび 1 つまたは複数の `mdat` アトムを表すデータ構造を含む、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

`moov` アトムを表すデータ構造が、`iods` アトムおよび 1 つまたは複数の `trak` アトムを表すデータ構造を含む、請求項 14 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記 `mdat` アトムおよび `trak` アトムを表す前記データ構造に基づく 1 つまたは複数の外部メディア・ファイルをさらに含む、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記少なくとも 1 つの中間構造化文書が、`mp4-file` 構造化文書を含み、前記 `mp4-file` 構造化文書が、データ構造の前記組に基づいて、1 つまたは複数の `mdat` 要素、`moov` 要素、および `iods` 要素を含む、請求項 14 に記載のシステム。

【請求項 18】

コンピュータに実行させるコンピュータ・プログラムであって、

`MPEG-4 (mp4) バイナリ・ファイル` を `XMT (Extensible MPEG-4 Textual) -A` ファイルに変換する、前記有形の媒体に結合されたコンピ

ュータ可読プログラム・コード

を含み、前記コンピュータ可読プログラム・コードは、前記プログラムに、
前記m p 4 バイナリ・ファイルを表す少なくとも1つの中間構造化文書を生成すること
と、
前記中間構造化文書をX M T 構造化文書に変換することと、
前記X M T 構造化文書に基づいて前記X M T —A ファイルを作成することと
を行わせる、コンピュータ・プログラム。